

要 覧

令 和 8 年 度
〔 2 0 2 6 〕



香 川 県 立 図 書 館

目

次

I	沿革	1
	歴代館長	7
II	基本方針・重点目標(令和8年度)	8
III	管理・運営	
	1. 組織機構・職員配置	9
	2. 香川県立図書館協議会委員	10
	3. 令和8年度当初予算の概要	10
IV	図書館活動	
	1. 県民への直接サービス	11
	2. 市町図書館等への支援	16
	3. 市町図書館等との連携	16
	4. 資料の整備充実	16
	5. 図書館評価	17
	(香川県立図書館資料収集方針	18)
	6. 令和8年度行事予定	19
	7. 令和8年度展示予定	20
V	実績報告(令和7年度)	
	1. 利用状況	21
	2. 資料整備状況	23
	3. 行事	26
	4. 展示	28
	5. 職場体験学習・見学等の受入れ	30
	6. 平日の開館時間の延長	30
VI	利用案内	31
VII	施設の概要	32
VIII	県内公共図書館等一覧	34
IX	公共図書館、巡回文庫配本団体	36

I 沿革

明治	38. 2. 10 (1905)	香川県教育会図書館を高松市七番丁に開館 高松藩講道館蔵書約 30, 000 冊を主体とする。
大正	6. 11. 3 (1917)	高松市天神前 147 番地に表誠館が落成し、香川県教育会とともに移転 建築費 55, 000 円 木造洋館建築 380 坪
昭和	3. 2. 11	紀元節当日、文部省より全国優良図書館 24 館中のひとつとして選奨される。
	8. 12. 20	県会において、県立図書館建設を可決、 香川県告示を以て図書館費 4, 491 円が認められる。
	9. 3. 31	文部省より県立図書館設置が許可され、香川県教育会図書館は香川県へ移管
	9. 4. 1 (1934)	香川県立図書館開館
	20. 4.	館舎を四国財務局に接收され、高松高等女学校に、 ついで高松工業学校に移転する一方、一部図書の疎開を行う。
	20. 7. 4	空襲により図書約 100, 000 冊以上を焼失、旧館舎も罹災した。
	21. 1. 7	本館仮事務所を市内石清尾八幡神社社務所に設置し、疎開図書により閲覧開始
	21. 1. 27	教養文化講座を初めて開催
	22. 2.	巡回貸出文庫の開始
	22. 4.	高松市西の丸公民館に移転
	23. 11. 3	高松市五番丁に新館舎を復興し、開館
	27. 5.	昭和 23 年 8 月開館の高松 C ・ I ・ E 図書館を 高松アメリカ文化センターと改称。所在地は高松市南新町
	28. 10.	高松アメリカ文化センターを香川県日米文化会館と改称し、 図書館の分館とする。
	31. 4. 1	分館の香川県日米文化会館が独立
	34. 11. 1	新館建設のため、香川県日米文化会館に仮移転
	36. 7. 15	高松市六番町、元産業会館グリルに日米文化会館とともに仮移転
	37. 12.	高松市五番町新館舎に日米文化会館とともに移転
	38. 3. 5 (1963)	新館落成式、同 11 日業務開始
	40. 2. 10	館外個人貸出し開始
	41. 5. 1	日曜休館となる。
	41. 10. 15	日米文化会館を日米文化センターと改称
	50. 3. 31	日米文化センター廃止
	50. 5. 1	・ 日曜開館となる。 ・ 郷土資料室開室

昭和	51.	5.	10	児童資料室開室
	51.	10.	1	児童資料室の団体貸出し開始
	53.	4.	1	香川県立図書館処務規程の改正により、総務課、資料課を置く。
	54.	5.	1	児童資料の個人貸出し開始
	54.	9.	1	中学生コーナーの新設
	54.	12.	1	電動式移動書架C室完成館内配架変更、座席数増、参考資料室開室
	55.	5.	26	電動式移動書架B室完成
	56.	5.	20	電動式移動書架A室完成
	56.	11.	10	身体障害者用施設（車椅子用スロープ、自動ドア、専用閲覧室、専用トイレ）完成
	57.	4.	1	身体障害者への郵送貸出し開始 小学生以下の幼児・児童等への個人貸出し開始（児童資料のみ）
	58.	4.	1	香川県立図書館規則を全部改正 ・図書貸出券を一般・児童共通とし、その有効期間を1年から2年に延長 ・児童資料室の開室時刻を午後1時から午前9時に変更 ・巡回文庫長期貸出制度を新設
	59.	4.	1	・参考調査係を新設 ・香川県立図書館相互貸借規程及び香川県立図書館購入希望図書取扱規程を制定
	59.	12.		・児童資料室を1階に移転し、拡充 ・館長室、総務課を2階に移転し、事務室を統合
	60.	3.	25	香川県立図書館協議会より「香川県立図書館の将来構想について」の答申書が提出される。
	60.	5.		香川県立図書館50年誌を発刊
	60.	9.	2	資料整理日（休館日）にも、新聞室のみは開室することとする。
	62.	10.	15	巡回文庫業務にパソコンを導入し、データ入力を開始
	63.	5.	1	日曜日の開館時刻を午後1時から午前9時に変更し、月曜日を休館とする。
	63.	12.	23	香川県図書館等整備調査委員会より整備構想についての報告書が提出
平成	元.	8.	15	(社)日本図書館協会へ香川県立図書館・文書館整備基本計画策定を委託
	2.	3.	31	(社)日本図書館協会より香川県立図書館・文書館整備基本計画が提出
	2.	6.	8	香川県立図書館・文書館建設基本計画策定
	2.	6.	13	香川県立図書館・文書館建築基本設計、実施設計業務委託
	3.	11.	15	高松市林町にて香川県立図書館・文書館起工式
	5.	10.	1	新館開館準備のため平成6年3月27日まで休館
	6.	3.	27	香川県立図書館・文書館落成式

平成	6. 3. 28 (1994)	・新館開館 ・香川県立図書館設置条例を全部改正 ・香川県立図書館規則を一部改正 ▶ 総務課、資料課、業務課の3課制に改正 ▶ 市町の図書館活動に対する援助及び協力を行うことを明記 ▶ 個人貸出しの冊数・期間の改正（図書5冊15日間、CD1点8日間） ▶ 郵送貸出しの利用対象者に「知的障害の程度が重い者」を追加 ・コンピュータによる図書館業務の開始
	6. 4. 1	施設設備管理等が財団法人香川県立図書館・文書館管理財団へ委託
	7. 4. 11	資料保護のため接着透明フィルムを装備開始
	8. 3. 26	「かがわネット」で図書館書誌情報の提供を開始
	8. 7. 9	香川県公共図書館CUGの運用を開始
	9. 1. 13	電子香川県教育委員会ホームページに、利用案内等の情報提供を開始
	9. 9. 16	パイロット電子図書館総合目録ネットワークに参加
	10. 3. 8	「インターネット」で図書館書誌情報の提供を開始
	11. 12. 7	・コンピュータシステムの更新 ・図書返却ポストの設置、運用開始
	12. 4. 1	・香川県立図書館規則を一部改正 ▶ 個人貸出しの冊数・期間の改正（CD2点15日間） ▶ 休館日の改正（12月29日～翌年1月3日） ・国立国会図書館総合目録ネットワークに書誌情報の提供を開始
	12. 10. 1	・「かがわネット」廃止に伴い、ホームページをリニューアルし、自館運営を開始 ・メールによるレファレンスの受付を開始
	13. 4. 1	・公立図書館未設置町への協力貸出を開始 ・個人貸出資料の市町立図書館等での返却の取扱いを開始 ・協力便の運行を開始
	14. 4. 1	祝休日開館となる。
	15. 3. 31	財団法人香川県立図書館・文書館管理財団の廃止
	15. 8. 1	4階東側書庫手動式書架設置
	15. 12. 11	国立国会図書館レファレンス協同データベース実験事業に参加
	16. 10. 27 ～ 10. 29	平成16年度第90回全国図書館大会香川大会開催
	17. 12. 13	・コンピュータシステムの更新 ・香川県立図書館規則を一部改正 ▶ 個人貸出しの冊数の改正（図書10冊、CD3点）

平成	18. 1. 4	・香川県内公共図書館横断検索開始 ・平日の児童資料コーナーの利用時間を午後 7 時までに変更
	19. 1. 23 ～ 1. 26	中国・四国地区図書館地区別研修をサンポート高松で開催
	19. 4. 1	・カウンター業務等を民間事業者に委託 ・香川県立図書館規則を一部改正 ▶ 総務課、資料課の 2 課制に改正
	19. 6. 16	子育て支援コーナー開設
	19. 10. 1	資料購入に係る契約方法に一般競争入札を導入
	21. 4. 1	カラー複写機を導入
	21. 6. 13	「ヤングアダルトコーナー」を拡充して「Young Generation コーナー」を開設
	21. 8. 1	4 階西側書庫の一部に手動式書架設置
	22. 3. 23	香川大学と相互協力に関する協定を締結（実施は 4 月 1 日～）
	22. 4. 1	装備・修理業務を民間事業者に委託
	22. 11. 18 ～ 11. 19	平成 22 年度全国公共図書館児童・青少年部門研究集会開催
	23. 4. 1	児童資料の団体貸出規程を全部改正し、保育所・幼稚園・小学校等を利用対象に加える。
	23. 9. 29	4 階西側書庫に手動式書架設置
	23. 11. 1	公益財団法人松平公益会学校支援文庫（木守文庫）を創設し、貸出し申込みの受付を開始
	23. 12. 6	・コンピュータシステムの更新 ・閲覧室に利用者用インターネット端末を設置
	24. 4. 24	国立国会図書館が配信する歴史的音源の提供開始
	26. 4. 22	国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」開始
	26. 7. 1 ～ 9. 30	開館 20 周年記念 県民メッセージコンテスト 「大切な人にこの一冊を～この本贈りたい 隊員募集～」のメッセージ募集
	26. 12. 9	・香川県立図書館規則を一部改正 ▶ 個人貸出しを受けられる資料種類を改正 ▶ 送付による資料の個人貸出しの対象者の要件を改正 ・郵送貸出しサービスの対象範囲を拡大 ・デイジー資料（音声デイジー、マルチメディアデイジー）の提供開始 ・（特非）全国視覚障害者情報提供施設協会のサピエ図書館の利用開始 ・香川県立図書館デジタルライブラリーをホームページで公開 ・健やか生活応援コーナー開設

平成	27. 1. 18	開館 20 周年記念事業「阿刀田高講演会」及び 県民メッセージコンテスト表彰式を開催（アルファあなぶき大ホール）
	27. 7. 18	読書通帳（小・中・高校生向け）の配布を開始
	27. 10. 27	「読書通帳」への記入を 50 冊達成した児童・生徒へしおりの進呈を開始
	27. 11. 16 ～28. 2. 5	防災設備（防煙垂れ壁）改修工事を施工。工事期間中は、児童資料コーナー 及び巡回文庫室等を活用してサービスを継続
	27. 12. 8 ～ 12. 11	中国・四国地区図書館地区別研修をサンポート高松で開催
	28. 2. 16	「大平文庫」開設
	28. 4.	蔵書冊数が 100 万冊に到達
	28. 7. 1 ～ 9. 30	平日（金曜日）の開館時間の延長を試行実施（閉館時刻を午後 8 時とする）
	28. 11. 15	閲覧室内に W i - F i 環境を整備
	29. 3. 31	巡回文庫長期貸出制度を廃止
	29. 4. 1	図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況の評価を行う 「図書館評価」を開始
	29. 7. 1 ～ 9. 30	平日（金曜日）の開館時間の延長を試行実施（閉館時刻を午後 8 時とする） （平成 28 年度に続き 2 回目）
	29. 10. 20	公益財団法人松平公益会学校支援文庫（木守文庫）の中学校版を整備し、 貸出し申込みの受付を開始
	29. 12. 5	コンピュータシステムの更新 ・ 図書館ホームページを刷新 ・ 閲覧室に利用者用商用データベース端末を 2 台設置し、 商用データベースの閲覧、印刷（有料）サービスを開始 ・ 児童資料コーナーの利用者用検索機を 1 台増設 ・ 横断検索に大学等図書館を追加 ・ ビジネス情報・しごと応援コーナーを開設 （国内・国際情報コーナーを廃止）
	30. 7. 1 ～ 9. 30	平日（金曜日）の開館時間の延長を実施（閉館時刻を午後 8 時とする）
	30. 12. 17	樋防水改修、防火シャッター等改修工事の竣工
令和	元. 7. 1 ～ 9. 30	平日（金曜日）の開館時間の延長を実施（閉館時刻を午後 8 時とする） 以後毎年実施することとする。
	2. 3. 9	県立図書館・文書館トイレ改修工事の竣工
	2. 4. 25 ～ 5. 6	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

令和	3. 2. 2	エントランスホール休憩コーナーリニューアル
	3. 2. 4	公益財団法人松平公益会の助成を受け、デジタルライブラリーに資料を追加
	3. 2. 9	エントランスホール天井改修工事の竣工
	3. 4. 1	香川県立図書館規則を一部改正 ▶ 総務課 業務企画・地域連携課 資料課の3課制に改正
	4. 3. 4	県立図書館・文書館1号エレベーター改修工事の竣工
	4. 4. 1	中学校、高等学校等を対象に資料団体貸出を開始
	5. 4. 1	資料関係機関貸出規程を施行
	5. 12. 5	コンピュータシステムの更新 ・オンライン利用者登録申請の開始 ・マイナンバーカード・スマートフォンを利用した資料の貸出しの開始 ・Web書棚・貸出履歴の導入
	6. 3. 4	県立図書館・文書館2号エレベーター改修工事の竣工
	6. 10. 27	移転開館30周年を記念してデザインを刷新した読書通帳の配布を開始
	6. 12. 21	移転開館30周年記念講演会 「日常と非日常の交差点 ～万城目学が語る創作の秘密～」を開催
	7. 1. 4	新デザインのしおりの配布を開始
	7. 4. 1	インターネット予約の対象資料を在庫資料に拡大
	7. 11. 10	県立図書館・文書館LEDランプ交換工事の竣工
	8. 2. 18	県立図書館・文書館中央監視設備改修工事の竣工
	8. 3. 16	新たなWi-Fi設備（KAGAWA Wi-Fi 2）を整備

【歴代館長】

昭和 9. 3	～ 18. 3	社会課長など、主管課長が兼務
昭和 18. 4	～ 31. 2	椎 名 六 郎
昭和 31. 2	～ 31. 9	望 月 哲太郎 (県社会教育課長兼務)
昭和 31. 9	～ 38. 3	草 薙 金四郎
昭和 38. 4	～ 38. 5	久保田 英 一 (県教育長兼務)
昭和 38. 5	～ 49. 3	村 山 清
昭和 49. 4	～ 50. 3	宮 本 輝 男 (県教育次長兼務)
昭和 50. 3	～ 53. 3	近 石 泰 秋
昭和 53. 4	～ 56. 5	和 泉 照 雄
昭和 56. 6	～ 60. 5	横 関 正
昭和 60. 6	～ 62. 1. 18	石 田 薫
昭和 62. 1. 19	～ 63. 3	藤 田 俊 一 (県教育次長兼務)
昭和 63. 4	～ 平成 5. 3	〃 (専任)
平成 5. 4	～ 10. 3	林 茂
平成 10. 4	～ 11. 3	佐々木 成 忠
平成 11. 4	～ 14. 3	片 山 堯
平成 14. 4	～ 15. 3	塩 田 誠一郎
平成 15. 4	～ 18. 3	下 河 芳 樹
平成 18. 4	～ 20. 3	東 山 敏 昭
平成 20. 4	～ 22. 3	小 国 史 郎
平成 22. 4	～ 27. 3	徳 田 辰 夫
平成 27. 4	～ 31. 3	西 村 隆 史
平成 31. 4	～ 令和 5. 3	渡 邊 勇 人
令和 5. 4	～ 8. 3	市 原 誠
令和 8. 4	～ (現在)	関 順 子

Ⅱ 基本方針・重点目標（令和8年度）

＜基本方針＞

香川県立図書館は、本県における中核図書館として、図書・記録・その他必要な資料を収集・整理・保存して、広く県民の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的とする。

この目的の実現のために、施設設備を整え、県民に対して必要な図書館サービスを提供するとともに、県内における市町図書館に対する援助及び協力を行い、県民の生涯にわたる読書及び調査研究活動を支え、促進する。

香川県立図書館は、「図書館の自由に関する宣言」（1979年 日本図書館協会総会）の趣旨を尊重する。

＜重点目標＞

1. 図書館資料の整備充実

- (1) 広く県民の利用に供するため、積極的に資料の収集を図る。
- (2) 蔵書の内容について、たえず蔵書構成を検討し資料の適切な選択収集を行う。
- (3) 郷土資料、空海資料、行政資料及び郷土人の著書等の積極的な収集を図るとともに、郷土資料の利活用を図るための資料整備を進める。
- (4) 児童資料及び巡回文庫の資料、県民の課題解決支援に役立つ資料、デジタイズ資料や大活字本等のアクセシブルな資料、AV資料については、それぞれの目的に応じて適切な選択収集を行う。

2. 図書館サービスの充実、強化

- (1) 利用者の求める資料の提供に努める。
- (2) 県民の多様な質問や調査に対し、適切な対応ができるよう参考調査業務に努める。
- (3) 子どもの読書活動の推進に努める。
- (4) 専門機関等と連携しつつ、県民の課題解決支援サービスの充実に努める。
- (5) 障害者や支援が必要な高齢者等の読書活動の推進に努める。
- (6) ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実に努める。
- (7) 県内外の公共図書館及び県内大学図書館との連携を密にし、相互協力並びに協力貸出(相互貸借)を強化する。
- (8) 県内の図書館未設置町への援助については、関係町教育委員会と連携しつつ巡回文庫・協力貸出等を推進する。
- (9) 人権、プライバシーを侵害するおそれのある資料については、慎重に取り扱う。
- (10) 図書館サービス向上のため、職員に対して継続的・計画的な研修に努める。
- (11) 県内公共図書館職員の資質・能力向上に資する研修に努める。

3. 読書普及活動の充実

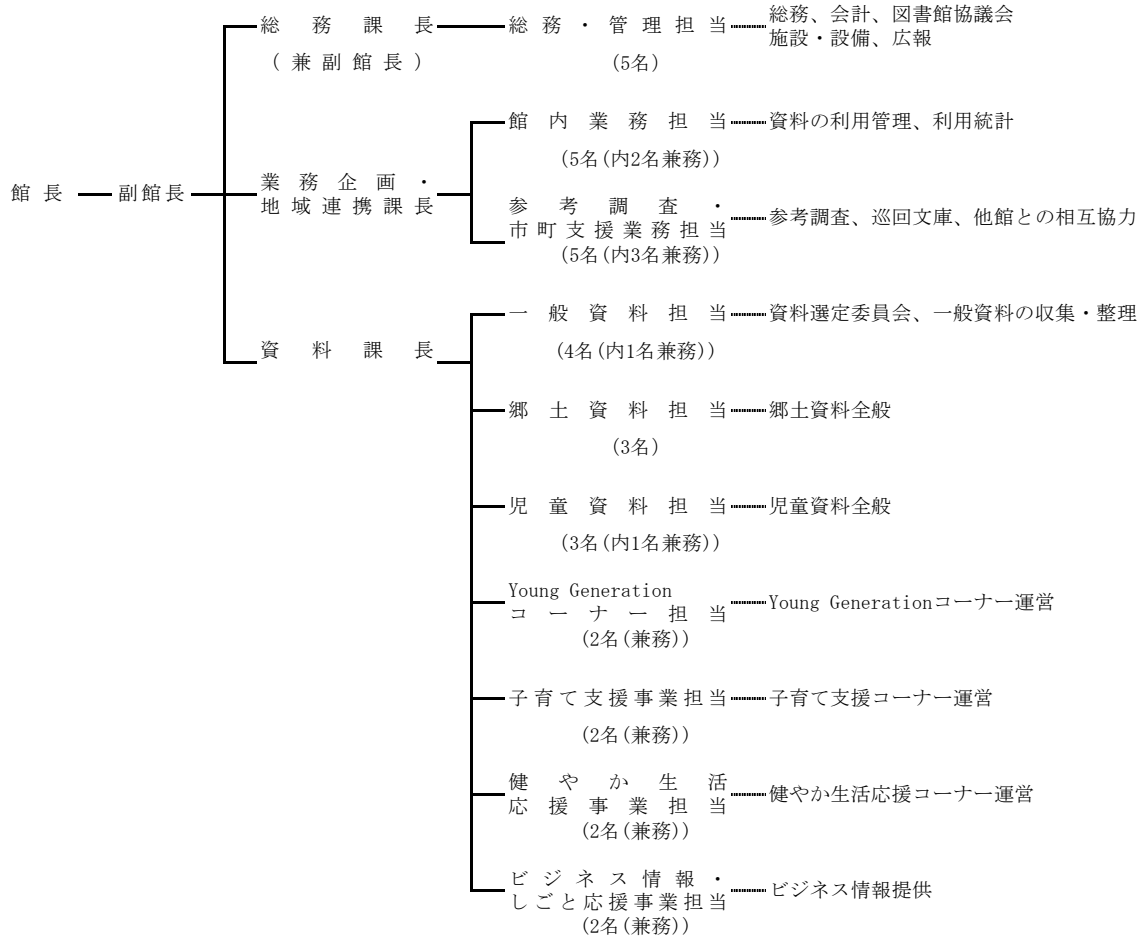
- (1) 読書週間行事等を開催し、図書館活動の普及に努める。
- (2) 県内の読書団体等と連携し、読書普及活動の促進に努める。
- (3) 図書館資料及び図書館活動に関して、広報に努め、図書館の利用を促進する。

4. 文化活動の推進

- (1) 県民の自主的・自発的な学習活動支援のための講演会・研修会・講座等を開催する。
- (2) 地域の読書活動を推進するため、図書館活動に関わる人材の育成を図る。

Ⅲ 管理・運営

1. 組織機構・職員配置（令和8年6月1日現在）



職 名 課・担当		館 長	副 館 長	課 長	副 主 幹	主 任	主 任 主 事	司 書	任 会 用 計 職 年 員 度	小 計	合 計	う 有 ち 資 格 者
館 長 ・ 副 館 長		1 ①	1							2 ①	2	1
総務課	総 務 課 長		(1)							(1)	5	0
	総 務 ・ 管 理 担 当				1	1	1		2	5		
業務企画・地域連携課	業務企画・地域連携課長			1 ①						1 ①	6	4
	館内業務担当				(1)	2		(1)	1 ①	3(2) ①		
	参考調査・市町支援業務担当				1 ①	(2)		1 ①	(1)	2(3) ②		
資料課	資 料 課 長			1 ①						1 ①	9	8
	一 般 資 料 担 当				2 ②	(1)			1 ①	3(1) ③		
	郷 土 資 料 担 当				1 ①				2 ①	3 ②		
	児 童 資 料 担 当				1 ①	1 ①			(1)	2(1) ②		
	Young Generation コーナー担当					(1)			(1)	(2)		
	子育て支援事業担当				(1)				(1)	(2)		
	健やか生活 応援事業担当				(1)				(1)	(2)		
	ビジネス情報・ しごと応援事業担当							(1)	(1)	(2)		
計		1 ①	1	2 ②	6 ⑤	4 ①	1	1 ①	6 ③	22 ⑬	22	13

兼務は()で外数、司書有資格者は○で内数

2. 香川県立図書館協議会委員

任期（令和7年4月1日～令和9年3月31日）

氏名（50音順）	備 考
河 野 友紀子	社会教育関係者
黒 川 知 子	学校教育関係者
柴 田 直 美	学識経験者
武 田 珠 恵	家庭教育関係者
坂 東 厚 子	学識経験者
前 田 康 行	社会教育関係者
松 本 博 雄	学識経験者
真 鍋 真由美	学校教育関係者
宮 脇 茂 樹	学識経験者
山 本 恵 三	学識経験者

3. 令和8年度当初予算の概要

（単位：千円）

	事 業 細 目	予算額	内 容
管 理 運 営 費	1 図 書 館 運 営 費	212,885	職員給与、カウンター業務等の委託など
	2 施設・設備の維持管理費	85,583	施設・設備の管理、保守など
	小 計	298,468	
活 動 推 進 事 業	1 図 書 館 資 料 充 実 費	37,054	図書館資料の収書・整理
	2 図書館サービス経費	426	子どもと本をつなぐ人材育成事業
	3 ほんのもり号にかかる経費	792	子どもの読書体験活動推進事業
	小 計	38,272	
合 計		336,740	

Ⅳ 図書館活動

1. 県民への直接サービス

(1) 閱 覧 室

来館者が利用しやすいよう1階のワンフロアに設置し、一般資料・参考資料・郷土資料・AV資料などコーナーごとに資料を配架している。

また、希望する資料の有無や配架場所が簡単に検索できるよう、利用者端末機を10台配置している。

面 積	3, 4 1 9 m ²	マイクロフィルムリーダー	2 台
開 架 能 力	2 2 万 冊	インターネット端末	4 台
席 数	2 5 9 席	商用データベース端末	2 台
AVブース (映像)	6 台		
(音声)	3 台		

コーナー名	内 容
一 般 資 料	総記・哲学・歴史・社会科学・自然科学・技術・産業・芸術・語学・文学の分野ごとに配架している。
参 考 資 料	調査・研究などに便利な事典・辞典・年鑑・白書・名鑑・法規等を配架している。
郷 土 資 料	香川の歴史や民俗、産業、方言など多彩なジャンルの郷土に関する資料のほか、香川県にゆかりのある人物の著作を配架し、「空海」に関する資料を集めた「空海資料コーナー」も設置している。 また、四国新聞の主要な記事を切り抜き、分野別に整理・配架している。
A V 資 料	CD、DVDなどのAV資料を配架し、AVブースで視聴できる。
デ イ ジ ー 資 料	視覚に障害がある方などのために、音声デイジー、マルチメディアデイジーを配架し、音声デイジー再生機、音声・拡大読書機で視聴できる。
文 庫 ・ 新 書	文庫、新書を配架している。
大 活 字 本	大きな活字で印刷された本を配架している。
洋 書	英米の出版物を中心に各分野の洋書を配架している。
新聞・雑誌	国内外各地の情報源である新聞（33種）・雑誌（約800種）を配架している。
Y o u n g Generation	10代（主に中・高校生）向きの図書を配架し、中・高校生が興味・関心のあるテーマでミニ展示を行っている。
健やか生活 応 援	健康・医療・介護・生きがいに関する図書やパンフレットを配架し、利用者の関心の高い話題のテーマや時宜に応じたテーマでミニ展示を行っている。
ビジネス情報 しごと応援	ビジネスや仕事に役立つ幅広い分野の図書や雑誌を配架し、専門機関の業務案内やセミナーなどのパンフレット・チラシを配布するほか、ミニ展示を行っている。
子育て支援	子育てに役立つ図書や雑誌を配架し、各種パンフレット・チラシを配布するほか、新聞記事や子育てサークルの活動状況の掲示や企画展示を行っている。
児 童 資 料	絵本・童話・紙芝居などの児童書を配架し、児童文学に関する解説書・研究書などを集めた「研究コーナー」や「親子読書コーナー」も設置している。